

# 常任委員会審査概要

議会の情報をみなさんにお伝えするため、3つの常任委員会での審査概要をご紹介します。

## 総務常任委員会

委員長 柴田 雅也

## 経済建設常任委員会

委員長 石田 浩司

## 厚生環境教育常任委員会

委員長 井上あけみ

●議第11号 平成28年度多治見市一般会計補正予算(第4号)(所管部分)

【ふるさと応援基金積立金4千328万5千円】使途先内訳についての質疑に対して「平成29年度予算にて個別事業として美濃焼の担い手育成に610万円、使途先を指定しない寄附は第7次総合計画に合わせた政策分野ほか全部で7つで定住化促進関係費等1千650万5千円、安心して子育て・子育てするまちづくりでは教育委員会や子ども支援課の所管事業に1千410万2千円、健康で元気に暮らせるまちづくりでは高齢福祉課の所管事業に281万7千円、にぎわいと活力のあるまちづくりでは産業観光課の観光事業に169万5千円、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりでは消防関係に288万2千円、市民が互いに助け合い学び合つまちづくりでは公民館関係に15万5千円、政策を実行・実現する行財政運営では広報関係費に105万円で、新年度4千530万6千円を充当して活用していく」との答弁でした。「また、多治見市民の多治見市への寄附については今年度は60件、244万円の寄附をいただいた」との答弁もありました。

●議第22号 平成29年度多治見市一般会計予算(所管部分)

【定住化促進関係費891万円】移住、定住のあり方、方向性についての質疑に対して「中期戦略のなかでは多治見らしさという魅力を多治見市民、市外の方で、移住、定住を希望される方々に伝わるようにすることが第一義的に大事である。多治見市の中の制度として、ここは住みよいまちだということにお金を投資していくことが原則になっているので、まずはそこで頑張っていきたいと考えている」との答弁でした。

【消防団員募集発事業費96万9千円】学生消防団の活動証明書についての質疑に対して「学生消防団活動認証制度を始めたいと思っている。学生消防団は18歳以上の方になるので、原則普通の消防団員と同じ仕事をやっていただく予定である。この制度については、市長から消防団員として頑張るよという認識を出して、それを就職先希望の会社へ持っていきけるという利点があるので、学生消防団にもメリットがある」との答弁でした。

●議第11号 平成28年度多治見市一般会計補正予算(第4号)(所管部分)

「公園施設長寿命化事業費のうち、虎深公園については今後どのような計画か」との質疑に対し、「市費単独で行うと負担が非常に大きいということもあり、長寿命化計画を立て、国の補助金により順次行っていく。虎深公園の噴水についても、次年度以降で検討させていただきたい」との答弁がありました。

●議第22号 平成29年度多治見市一般会計予算(所管部分)

「道路改良事業費(単独)の若松町ラウンドアバウト交差点はどのようなものか」との質疑に対し、「岐阜県内にはラウンドアバウト方式の交差点はない。ラウンドアバウト交差点の車線の直径は27メートルほどであり、外側に2メートルの歩道がついて、直径で31メートルという円の形状になる。交差点協議等が必要になってくるため、多治見警察署ならびに岐阜県公安委員会に協議を行っている」との答弁でした。

「商工費の観光宣伝事業費について、Wi-Fiの環境整備の内容は」との質疑に対し、「Wi-Fiルーターは多治見駅の南北自由通路に2機、駅北広場に1機、南側の広場に1機と、計4機を予定している。この3カ所で行うのは、多くの外国人の方が来られる入り口を多治見駅と判断しているため、駅か」

らの観光地案内や経路、食事場などを調べるために無料のWi-Fiが必要である。年間36万円の通信費用とハードウェアの費用は230万円を予定している」との答弁でした。

●議第33号 平成29年度多治見市水道事業会計予算

「岐阜県東濃用水の事業であるが、今後水道事業会計への影響は」との質疑に対し、「今年度、岐阜県の水道ビジョンの見直しがあった。現在の事業として、滝呂の団地の中に、大容量送水管の布設替えをしている。工事には費用がかかるが、岐阜県の見解としては、ここ10年は料金への影響はないという判断を示されている」との答弁でした。

## 常任委員会審査概要

### 付託されたおもな議案

事件番号	件名	審査結果
議第1号	多治見市教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例を制定するについて	原案可決
議第6号	多治見市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するについて	
議第8号	多治見市税条例等の一部を改正するについて	
議第11号	平成28年度多治見市一般会計補正予算(第4号)(所管部分)	
議第13号	平成28年度多治見市土地取得事業特別会計補正予算(第1号)	
議第22号	平成29年度多治見市一般会計予算(所管部分)	
議第24号	平成29年度多治見市土地取得事業特別会計予算	

### 付託されたおもな議案

事件番号	件名	審査結果
議第3号	多治見市中心市街地出店資金融資条例を廃止するについて	原案可決
議第10号	多治見都市計画地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正するについて	
議第11号	平成28年度多治見市一般会計補正予算(第4号)(所管部分)	
議第22号	平成29年度多治見市一般会計予算(所管部分)	
議第26号	平成29年度多治見市駐車場事業特別会計予算	
議第33号	平成29年度多治見市水道事業会計予算	
議第35号	財産の取得について	
議第44号	和解について	

### 付託されたおもな議案

事件番号	件名	審査結果
議第2号	多治見市新市民病院建設に係る資本整備基金条例を廃止するについて	原案可決
議第4号	多治見市ドメスティック・バイオレンスの被害者等の支援に係る住民票の写しの交付等の制限に関する条例の一部を改正するについて	
議第11号	平成28年度多治見市一般会計補正予算(第4号)(所管部分)	
議第22号	平成29年度多治見市一般会計予算(所管部分)	
議第28号	平成29年度多治見市国民健康保険事業特別会計予算	
議第37号	第7次多治見市総合計画基本計画を変更するについて	

●議第22号 平成29年度多治見市一般会計予算(所管部分)

地域支え合い体制づくり事業費については、「現在の要支援の方のホームヘルプとデイサービスの部分について、新年度変化がある。利用者は、今まで月1回行っても4回行っても同じ額、事業者は1回でも1カ月分の収入があったが、いずれも回数ごとの金額となった。新総合事業への移行ということで制度を改正させていただきたい旨事業者には説明をしている」との答弁がありました。

また、介護状態になる前の予防として、「ソフト部分の地域支え合い体制づくり事業費、ハード部分の高齢者地域づくり推進事業費の2本を合わせて進めたい。まず、地域支え合い体制づくり事業費では、介護予防事業推進費でサロンに運動指導士を派遣する回数を増やし、予防事業に資するものになりたい。ほかに新しい総合事業の担い手づくりで、身体介護を必要としない部分を担うライフサポーター育成講座の実施等、例えば認知症の、地域で見守り活動をどうしていくかというようなことなどの支援を考えている。ハード的には各集会所等で行われているサロンのバリアフリー化の補助を行うというものである」との答弁がありました。

北栄地域包括支援センターの整備の方針については「委員会を立ち上げ、夏ぐらいに公募、決定し契約。平成30年1月1日から事業開始をめざしている」との答弁がありました。

↓ 小中学校のICT化10年計画については、「既に情報化(例、パソコン、ネットワーク等)されており、新規は2割ほどの計画である。新規では、無線LANの環境づくり。将来的には電子黒板、大型モニターと各生徒が持つタブレット、小型パソコンが連動するネットワーク環境を今後10年ほどかけ毎年2校ずつネットワークをつくり上げていく」という答弁がありました。

調理場整備計画の変更については、「ファシリテイ マネジメント(施設の効率的な管理手法)を考え、昭和小学校近接校対応調理場は建設するが、これ以降の精華、小泉などについては、聖域なく見直す。端的に言えば、お金が将来的にかかからないような方式はどうあるべきかを検討し、従来の単独校または近接校にしていくという考え方から「センター方式調理場」も選択肢の一つとして考えていく」との答弁がありました。